

お客様各位

大建工業株式会社

防耐火認定書類（写）の使用に際してのご注意

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度は弊社製品をご採用またはご検討いただき誠に、ありがとうございます。

ご要望の表記資料を使用いただく際に、注意していただきたい事項がございます。下記事項を、ご確認、ご了解の上、ご利用いただくようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 認定書は、防耐火構造上、国土交通大臣に認められた構造仕様の範囲を示すものです。外壁の仕様、断熱材など各資材は、認定書に記載されている仕様を満たすものを選定するようにお願いいたします。（認定範囲外となった場合、防耐火構造の性能上の問題が生じるおそれがあります。）実際の設計、施工においては、認定書と共に弊社および各材料メーカーのカatalog、施工要領書に記載の事項をご確認いただき、それに従ってください。
2. 各防耐火認定ごとに、建物及び下地の構造（軸組/枠組、木製/鋼製 など）、外装仕上がり材の仕様（基材、厚さ、形状等）、工法（通気、直張り、充填断熱、外張り断熱等）、断熱材の仕様、屋内側防火被覆材（内装材）の指定の有無など認定範囲が異なりますので十分ご確認ください。
3. 認定書は、認定書構造をご採用いただいた物件の確認申請、あるいは防耐火構造としての仕様確認のためにご提供するものです。本来の目的以外ではご使用されないよう、お願いいたします。
4. これらの注意点は新築時だけではなく、外壁や断熱の改修時にも配慮が必要となります。ご留意のほどよろしくお願いいたします。

以上

2025/7/2 改訂



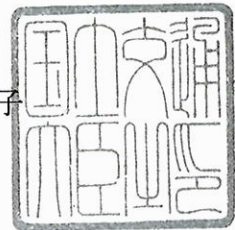
認 定 書

国 住 指 第7675号
平成14年12月19日

大建工業株式会社

取締役社長 井邊博行 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第八号並びに同法施行令第108条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各30分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PC030BE-0199

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

セルローズファイバー充てん／木繊維混入セメントけい酸カルシウム板・インシュレーションボード表張／せっこうボード裏張／木製軸組造外壁

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

(別添)

1. 構造名

セルローズファイバー充てん／木繊維混入セメントけい酸カルシウム板・
インシュレーションボード表張／せっこうボード裏張／木製軸組造外壁

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
壁 幅	910 以上
壁 高	9000 以下
壁 厚	146.5 以上

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
①荷重支持部材	柱 ・断面形状 105×105 の断面寸法以上 ・間隔 1000 以下
②外装材	材料 (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする (1) 硬質木片セメント板 ・組成 (質量%) - セメント質原料 73～78 - 木片 22～27 (2) 木繊維混入セメントけい酸カルシウム板 ・組成 (質量%) - けい酸カルシウム化合物 70～80 - 有機質繊維 15 - 無機質繊維 0～5 - 有機質混和材 0～3 - 無機質混和材 12～15 (3) 繊維補強セメント板 ・組成 (質量%) - セメント質原料 65～85 - 有機質繊維 2.5～8 - 無機質繊維 0～6 - 有機質混和材 0～3 - 無機質混和材 0～30 (4) 繊維補強セメントけい酸カルシウム板 ・組成 (質量%) - けい酸カルシウム化合物 65～96 - 有機質繊維 0～6 - 無機質繊維 0～3.5 - 有機質混和材 0～3 - 無機質混和材 0～30 但し、●繊維質原料 有機質：木繊維、パルプ、ポリビニルアルコール、ポリプロピレン 無機質：ガラス繊維、ロックウール、マイカ 等 (石綿は使用してはならない) ●混和材 有機質：木粉、メチルセルロース、撥水剤 等 無機質：バーライト、バーミキュライト、タルク 等 ・サイディングの張方 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) 横張 (2) 縦張 ・表面塗装 (1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする (1) アクリルウレタン系樹脂塗装 (2) アクリル系樹脂塗装 (3) アクリルシリコン系樹脂塗装 (4) フッ素系樹脂塗装 (5) 無機質系樹脂塗装 塗布量 200g/m² (有機固形分) 以下 ・かさ比重 1.1±0.2 (気乾)

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造																																																								
②外装材（つづき）	・形状（外形寸法） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">厚さ</th><th colspan="2">幅</th><th colspan="2">長さ</th></tr> <tr> <th>最小</th><th>最大</th><th>最小</th><th>最大</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12～14</td><td>400※</td><td>1210</td><td>1820</td><td>3640</td></tr> <tr> <td>15～25</td><td>303</td><td>910</td><td>910</td><td>3640</td></tr> </tbody> </table> ※但し、重張の場合は 160 ・端部形状（サイディング相互の重なりと隙間） <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ</th><th>重なり</th><th>隙間</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12～14</td><td>6 以上</td><td>3 以下</td></tr> <tr> <td>15～25</td><td>9 以上</td><td>3 以下</td></tr> </tbody> </table> ・断面形状 <厚さ 12～14> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>厚さ</td><td>12～14</td></tr> <tr> <td>模様深さ</td><td>最小厚さ 8 以上を確保</td></tr> <tr> <td>容積欠損率（％）</td><td>8 以下（但し、板厚 12 を超える場合は裏面から 12 以下の模様による欠損率とする）</td></tr> <tr> <td>※中空率（％）</td><td>0（中実）</td></tr> </tbody> </table> <厚さ 15～25> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>厚さ</td><td>15～25</td></tr> <tr> <td>模様深さ</td><td>最小厚さ 11 以上を確保</td></tr> <tr> <td>容積欠損率（％）</td><td>11 以下（但し、板厚 15 を超える場合は裏面から 15 以下の模様による欠損率とする）</td></tr> <tr> <td>※中空率（％）</td><td>37 以下（但し、板厚 15 を超える場合は厚さを増した分だけ、d の長さを増し中空率を上げることができる）</td></tr> </tbody> </table> ・中空の形状 <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ t</th><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th><th>e</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15 以上</td><td>3 以上</td><td>3 以上</td><td>3 以上</td><td>9 以下</td><td>t 以下</td></tr> </tbody> </table> 但し板厚 15 を超える場合、厚さを増した分だけ d の長さを増すことができる	厚さ	幅		長さ		最小	最大	最小	最大	12～14	400※	1210	1820	3640	15～25	303	910	910	3640	厚さ	重なり	隙間	12～14	6 以上	3 以下	15～25	9 以上	3 以下	厚さ	12～14	模様深さ	最小厚さ 8 以上を確保	容積欠損率（％）	8 以下（但し、板厚 12 を超える場合は裏面から 12 以下の模様による欠損率とする）	※中空率（％）	0（中実）	厚さ	15～25	模様深さ	最小厚さ 11 以上を確保	容積欠損率（％）	11 以下（但し、板厚 15 を超える場合は裏面から 15 以下の模様による欠損率とする）	※中空率（％）	37 以下（但し、板厚 15 を超える場合は厚さを増した分だけ、d の長さを増し中空率を上げることができる）	厚さ t	a	b	c	d	e	15 以上	3 以上	3 以上	3 以上	9 以下	t 以下
厚さ	幅		長さ																																																						
	最小	最大	最小	最大																																																					
12～14	400※	1210	1820	3640																																																					
15～25	303	910	910	3640																																																					
厚さ	重なり	隙間																																																							
12～14	6 以上	3 以下																																																							
15～25	9 以上	3 以下																																																							
厚さ	12～14																																																								
模様深さ	最小厚さ 8 以上を確保																																																								
容積欠損率（％）	8 以下（但し、板厚 12 を超える場合は裏面から 12 以下の模様による欠損率とする）																																																								
※中空率（％）	0（中実）																																																								
厚さ	15～25																																																								
模様深さ	最小厚さ 11 以上を確保																																																								
容積欠損率（％）	11 以下（但し、板厚 15 を超える場合は裏面から 15 以下の模様による欠損率とする）																																																								
※中空率（％）	37 以下（但し、板厚 15 を超える場合は厚さを増した分だけ、d の長さを増し中空率を上げることができる）																																																								
厚さ t	a	b	c	d	e																																																				
15 以上	3 以上	3 以上	3 以上	9 以下	t 以下																																																				

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
③外装下地材	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) インシュレーションボード ・ 規格 JIS A 5905 ・ 厚さ 8 以上 (2) 火山性ガラス質複層板 ・ 規格 JIS A 5440 QM-9142 ・ 厚さ 8 以上 ・ 寸法 最大：1220×3030 最小：455×910 ・ 実形状 長辺方向：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) 切り放し (2) 本実 (3) 合じゃくり 短辺方向：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) 切り放し (2) 本実 (3) 合じゃくり
	胴縁 ・ 断面形状 12×40 の断面寸法以上 ・ 間隔 500 以下
④補強材	[1] 間柱 ・ 寸法 45 以上×105 以上 [2] 受材 ・ 寸法 45 以上×105 以上

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
⑤防水シート	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) アスファルトフェルト 430 ・規格 JIS A 6005 (2) 透湿防水シート ・規格 JIS A 6111 ・厚さ 0.16 以上 (3) 防水テープ (ブチルゴム系またはアスファルト系粘着テープ)
⑥断熱材	セルローズファイバー ・規格 JIS A 9523 ・厚さ 50 以上 ・密度 45 kg/m ³ 以上 ・組成(質量%) 新聞紙 76.8 以下 ほう砂 17.0 以上 難燃処理薬剤(ほう酸) 5.0 以上 はっ水剤 1.2 以上
⑦防湿シート	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) 内張シート ・材質 ポリエステル長繊維不織布 ・厚さ 0.1 以上 (2) 防湿フィルム ・規格 JIS A 6930 ・厚さ 0.1 以上
⑧シート受材	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) 寸法 12 以上×12 以上 (2) 柱面にシートを施工する場合、受材は省略できる
⑨内装材	(1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする (1) せっこうボード ・規格 平成 12 年建設省告示第 1401 号 ・厚さ 9.5 以上 (2) 火山性ガラス質複層板 ・規格 JIS A 5440 QM-9137 ・厚さ 12.5 以上 (3) 厚さが 12 以上のせっこうボードの上に厚さが 9 以上のせっこうボード又は難燃合板を張ったもの ・せっこうボード 規格 平成 12 年建設省告示第 1400 号 ・難燃合板 規格 平成 12 年建設省告示第 1402 号 (4) 厚さが 9 以上のせっこうボード又は難燃合板の上に厚さが 12 以上のせっこうボードを張ったもの ・せっこうボード 規格 平成 12 年建設省告示第 1401 号 ・難燃合板 規格 平成 12 年建設省告示第 1402 号 (5) 厚さが 7 以上のせっこうラスボードの上に厚さが 8 以上のせっこうプラスターを塗ったもの ・せっこうラスボード 規格 JIS A 6901、NM-8617

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
①釘・ねじ	[1] 外装下地材留め付け用 (1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする (1) 釘 N38 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 150 以下 (外側) 200 以下 (中央) (2) 釘 SN40 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 150 以下 (外側) 200 以下 (中央) (3) 釘 SFN38 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 150 以下 (外側) 200 以下 (中央) (4) 釘 CN40 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 150 以下 (外側) 200 以下 (中央) (5) 木ねじ $\phi 3.5$ 以上$\times$$\ell 32$ 以上 ・規格 JIS B 1112 ・間隔 150 以下 (外側) 200 以下 (中央) [2] 外装材留め付け用 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) スクリュー釘、リング釘 ・寸法 $\phi 2.0$ 以上$\times$$\ell 38$ 以上 ・間隔 303 以下 (2) タッピンねじ ・寸法 $\phi 3.3$ 以上$\times$$\ell 25$ 以上 ・間隔 303 以下 [3] 胴縁留め付け用 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) 釘 N50 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 500 以下 (2) 釘 SFN50 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 500 以下 (3) 釘 CN50 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 500 以下

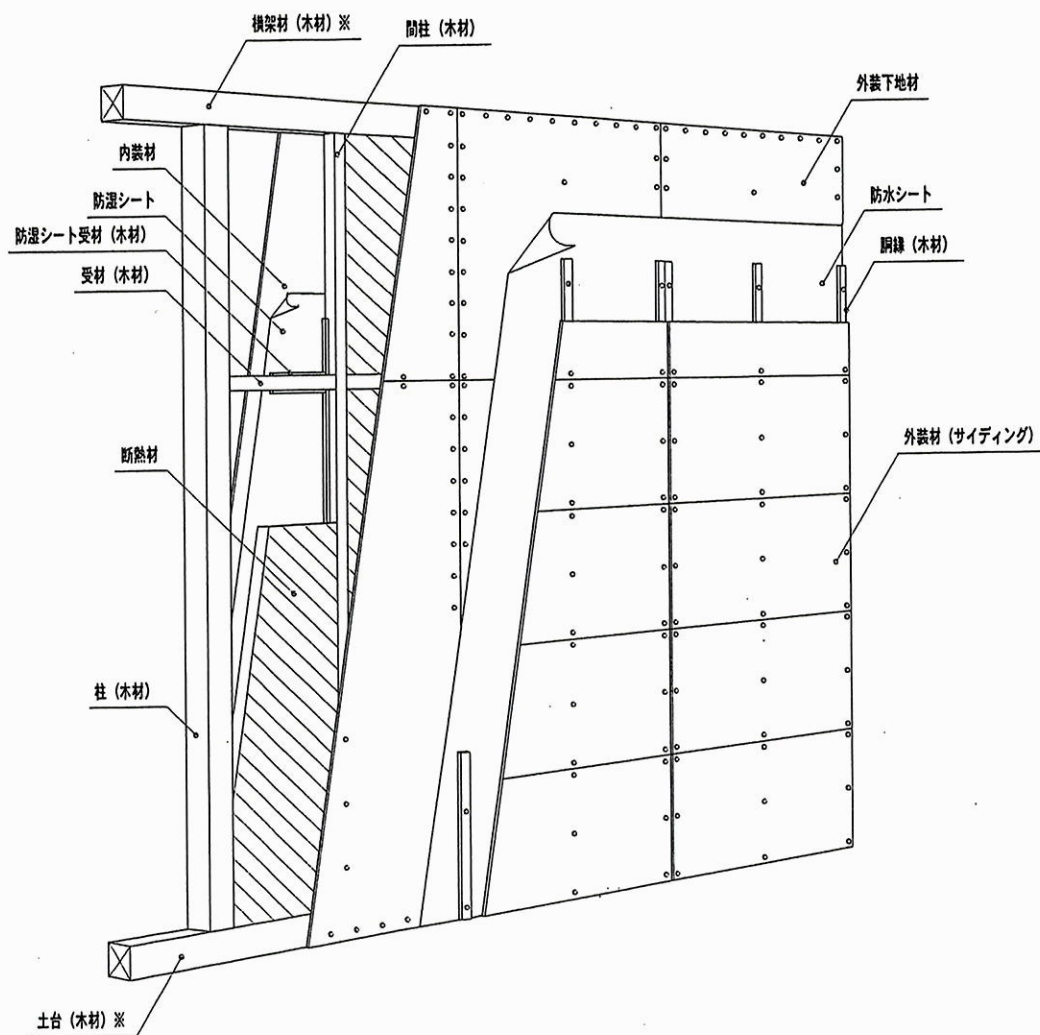
(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
②目地部材	[1]、[2] いずれか一仕様、又は[1]と[2]、[1]と[3]の組み合わせとする [1] シーリング材：(1)～(6)のうち、いずれか一仕様とする (1) ポリウレタン系樹脂 (2) アクリルウレタン系樹脂 (3) ポリサルファイト系樹脂 (4) 変成ポリサルファイト系樹脂 (5) シリコン系樹脂 (6) 変成シリコン系樹脂 ・ 使用量：56～126g/m [2] 金属ジョイナー（ハット型ジョイナー） ・ 材質：鋼製 ・ 厚さ：0.27 以上 [3] バックアップ材：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) 発泡ポリエチレン (2) 発泡ポリスチレン ・ 厚さ：3～30 ・ 幅：8～12

4. 構造説明図

<構成の種類>

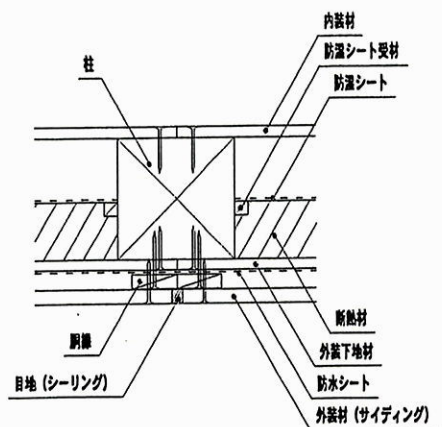
		サイディングの張方	
		横張	縦張
防湿シート 受材の有無	有り	図 4-1、4-2	図 4-5、4-6
	無し	図 4-3、4-4	図 4-7、4-8



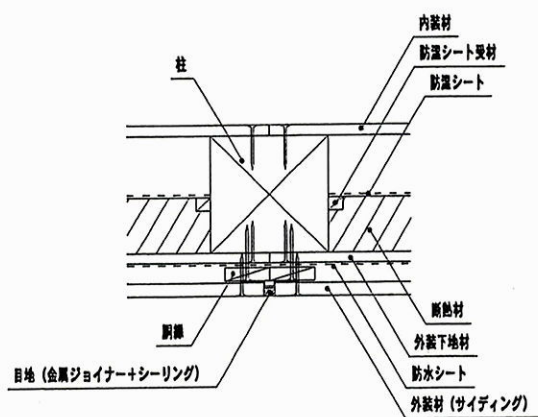
【図 4-1：サイディング横張、防湿シート受材有りの構造（透視図）】

注) 寸法は 3 のとおり

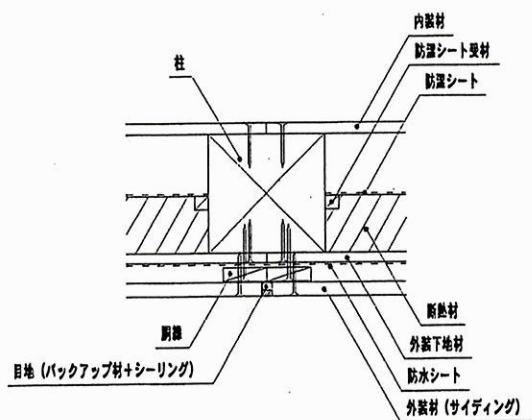
※：本評価内容には含まない



(1) シーリングのみ



(2) 金属ジョイナーとシーリング

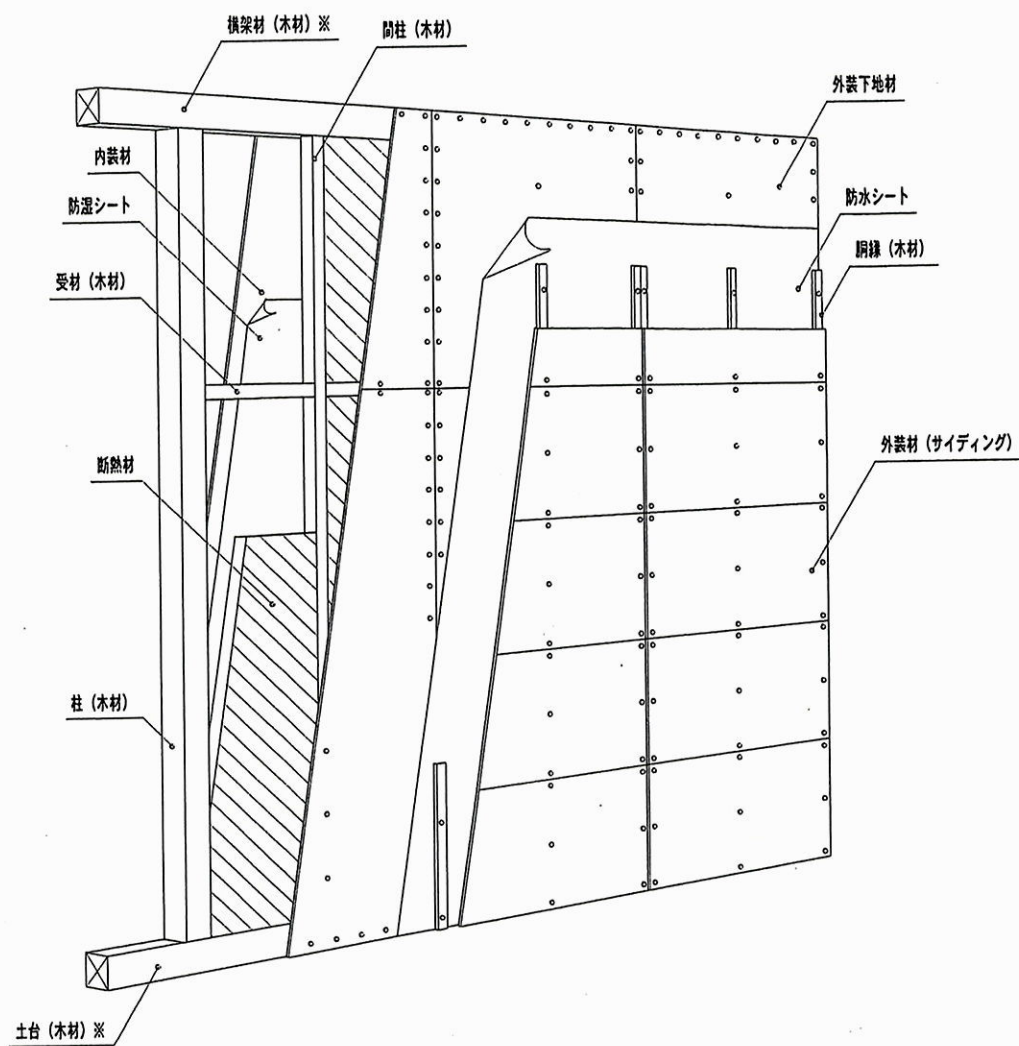


(3) バックアップ材とシーリング

【図4-2：サイディング横張、防湿シート受材有りの構造（目地仕様図）】

注) 寸法は3のとおり

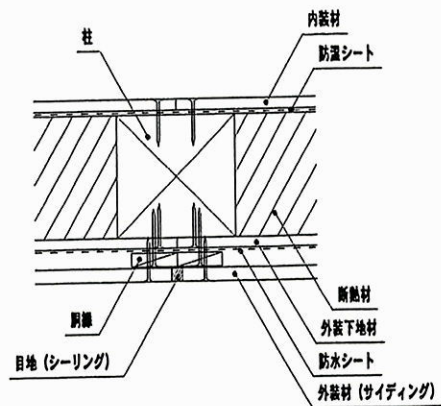
※：本評価内容には含まない



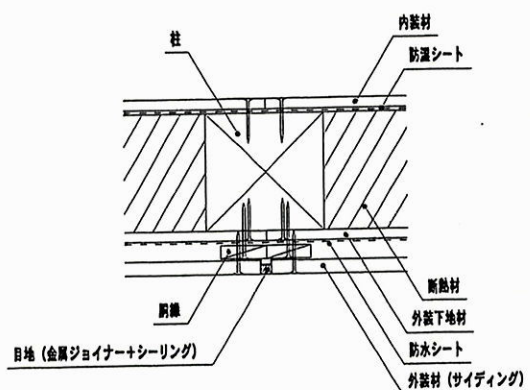
【図４－３：サイディング横張、防湿シート受材無しの構造（透視図）】

注）寸法は３のとおり

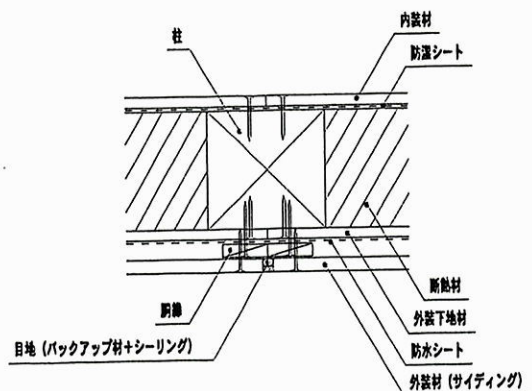
※：本評価内容には含まない



(1) シーリングのみ



(2) 金属ジョイナーとシーリング

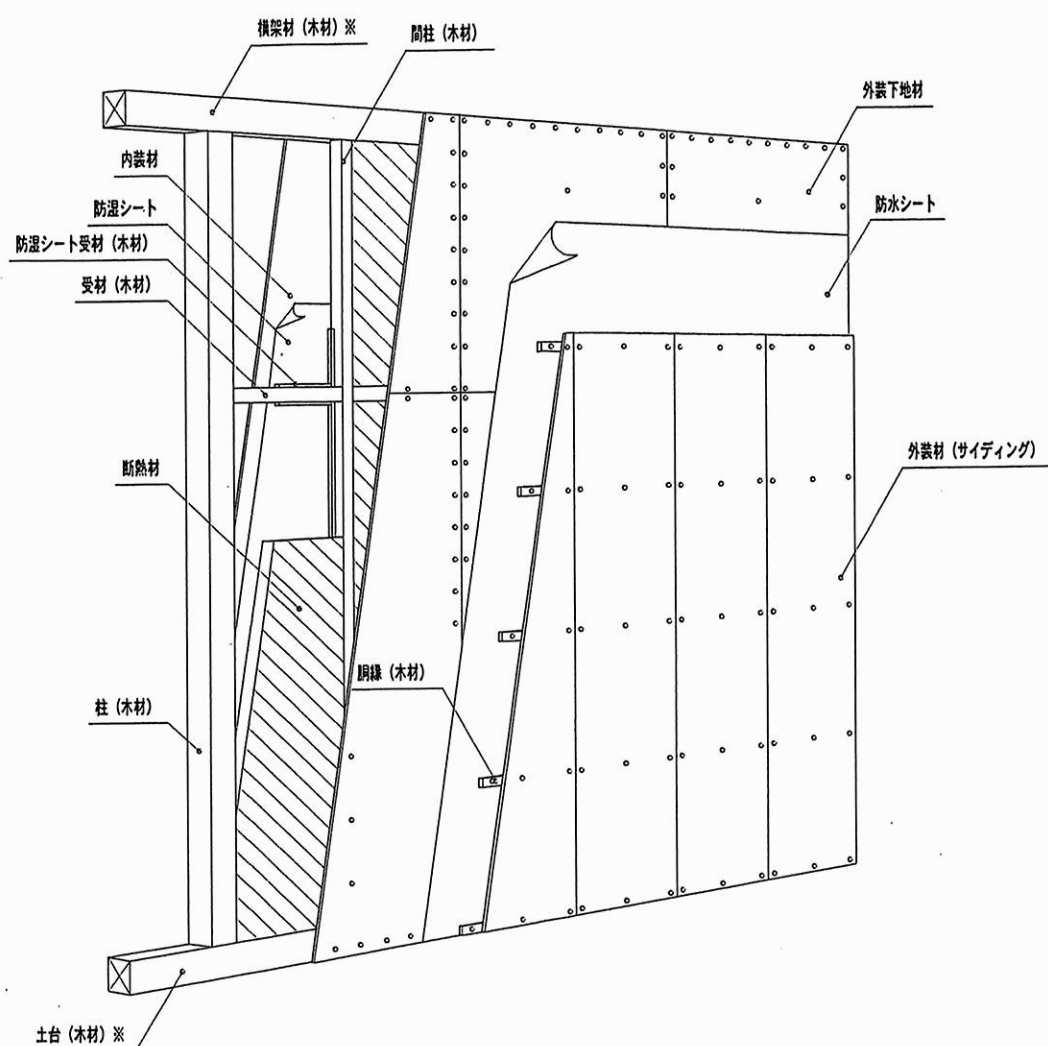


(3) バックアップ材とシーリング

【図4-4：サイディング横張、防湿シート受材無しの構造（目地仕様図）】

注) 寸法は3のとおり

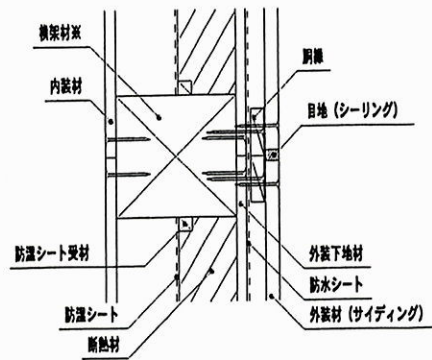
※：本評価内容には含まない



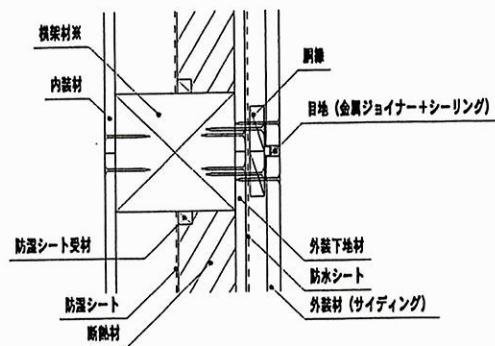
【図 4－5：サイディング縦張、防湿シート受材有りの構造（透視図）】

注）寸法は 3 のとおり

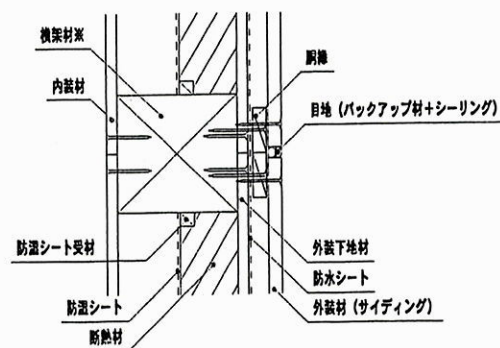
※：本評価内容には含まない



(1) シーリングのみ



(2) 金属ジョイナーとシーリング

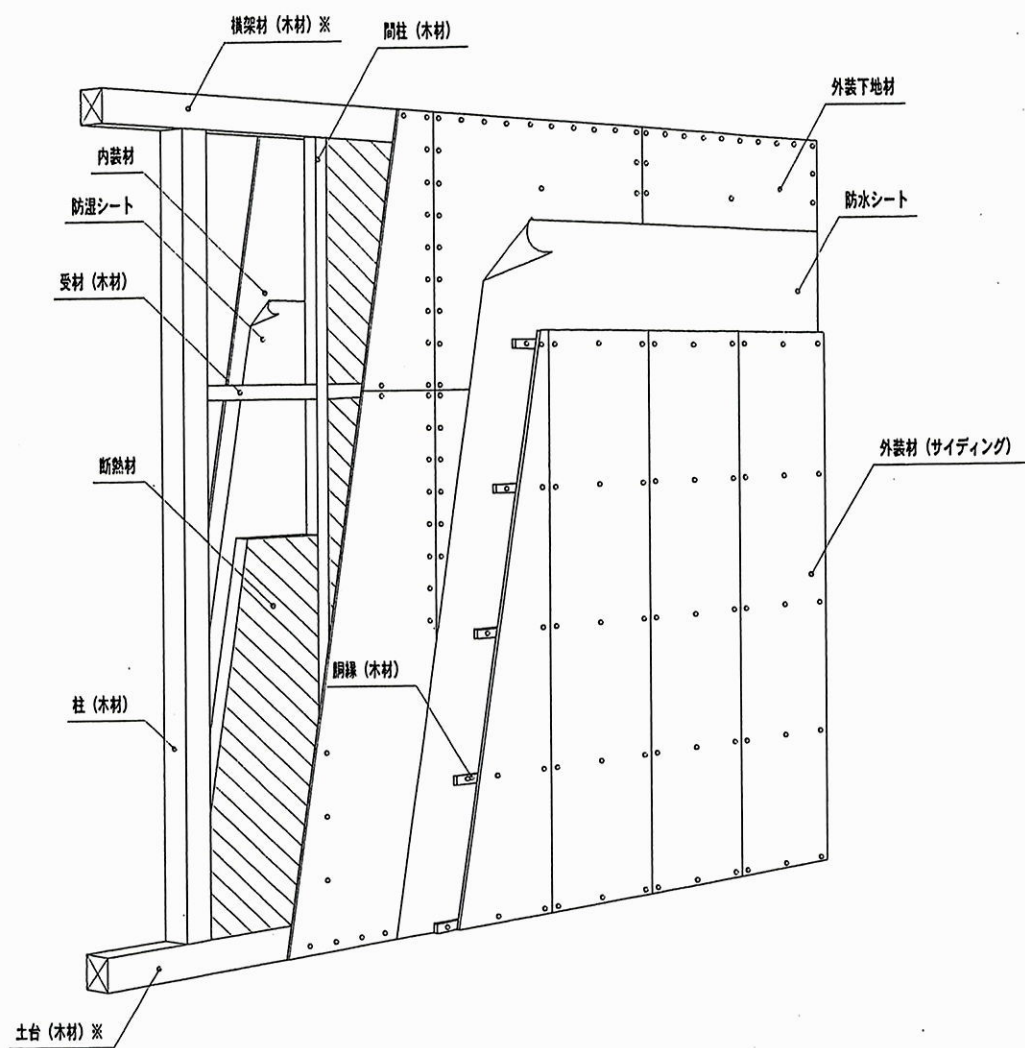


(3) バックアップ材とシーリング

【図４－６：サイディング縦張、防湿シート受材有りの構造（目地仕様図）】

注）寸法は３のとおり

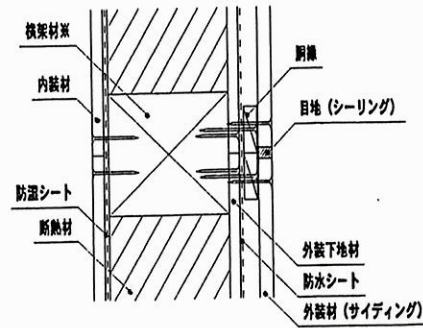
※：本評価内容には含まない



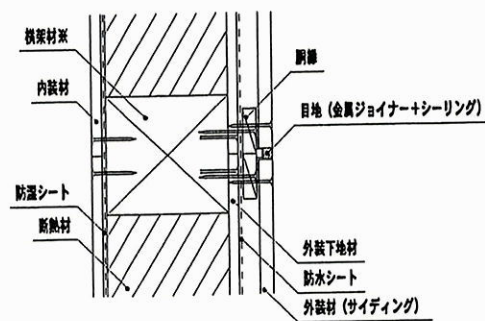
【図４－７：サイディング縦張、防湿シート受材無しの構造（透視図）】

注）寸法は３のとおり

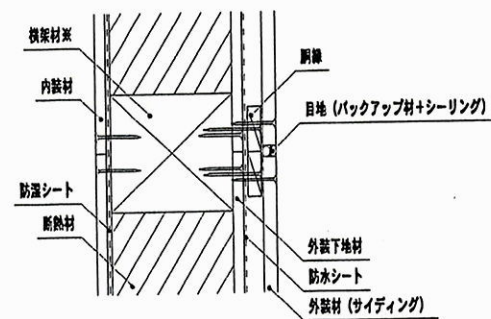
※：本評価内容には含まない



(1) シーリングのみ



(2) 金属ジョイナーとシーリング



(3) バックアップ材とシーリング

【図4-8：サイディング縦張、防湿シート受材無しの構造（目地仕様図）】

注) 寸法は3のとおり
 ※：本評価内容には含まない

5. 施工方法等

施工図は4と同じ

<施工手順>

1) 下地

- ・柱、間柱等は反り・曲り等のないものを使用する。
- ・柱と横架材とは上下長ほぞ差しまたは突きつけとし、接合金物を用いてN50以上の釘等で固定する。
- ・間柱と横架材との仕口は、上部はほぞ差し、下部は突き付けとし、N50以上の釘で斜め打ちする。

2) 断熱材

- ・柱面または柱間にシートを施工する。
- ・柱間にシートを施工する場合、その受材は12mm×12mm以上とする。
- ・セルローズファイバーを吹き込み施工する。

3) 外装下地材

- ・外装下地材を釘(N38)等で縦張固定する。
- ・釘ピッチは周辺部150mm以下、中央部200mm以下とする。

4) 防水処理

- ・外装下地材の上にアスファルトフェルト、防水テープ又は透湿防水シートを施工する。

5) 胴縁

- ・外装下地材の上に胴縁を500mmピッチ以下で固定する。

6) 外装材

- ・サイディングを釘(φ2.0mm以上×ℓ38mm以上)で303mmピッチ以下で固定する。
- ・サイディングの目地部は継ぎ手ジョイナー、バックアップ材等で繋ぎ、シーリング材で埋める。

7) 仕上げ

- ・必要に応じ、防火上支障の無いように仕上げる。

8) 内装材

- ・所定の内装材を施工する。